

# 鳥取神青通信

## 創刊号

発行元 鳥取県神道青年会  
編集 若 草 会

### 第一号発行に当たって

鳥取県神道青年会会長

米原 尊 仁



本年度懸案でありました、「通信」の発行が八月開催の総会に於きまして、決議されました。

私共神道青年会では、殆どの会員が兼職であり、諸活動に参加される気持ちを持ちながら、参加出来ないという状況にあると考えております。

しかしながら、兼職と雖も将来は、共に神明に御奉仕される訳ですから、会の現状を把握して頂き度いという願いと共に、会員相互の連携を保つことを目的に、この度「通信」の発行に踏み切ったところです。

第一号は、東部若草会の

皆様にお世話になりました訳ですが、次には中部・西部の順を持ちまして、長く続いていくことを切望いたします。

今後会員の皆様の益々のご協力を得まして、この「通信」と共に、鳥取県神道青年会が充実していくことを祈念致しまして、第一号発行の御挨拶とさせて頂きます。



### 発刊によせて

鳥取県神社庁

庁長 松田 幸史

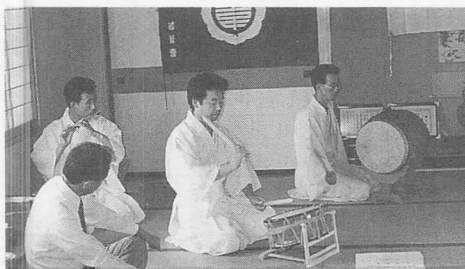
鳥取県神道青年会におかれましては、このたび「鳥取神青通信」の運び、たいへん意義深いことと賛辞をおくると共に、私ども(OB)が成し得なかった願いを果して下さったことに対して、衷心より敬意を捧げたいと存じます。

県神青会の消長は、それこそ種々な紆余曲折を経て参りましたが、その中心軸には一貫して、日本の道統を継承しその展開活動を通して、「神道精神の正しきを昂揚する」にあったことを、この際はつきり認識して頂きたいと存じます。めまぐるしく変転する社会情

勢の中にあつて、その奔流に押されることがなく、伝統護持の旗印も高く力強い歩みを続けて頂きたい。

更に大切なことは、常に県神青会に新しい息吹きを注入して組織の活性化を図らねばならない事でありましょう。神青通信もその一翼を担う重要な役目を果たすであろうことを確信しています。

今日の諸兄の努力と研鑽が、通信に結集されて輝やかしい明日への生命に連がることを期待いたします。



東・中・西の神楽の披露(中部)

### 総会報告

去る八月九日、鳥取県若美郡太田公民館に於いて、平成四年度県神青会総会が開催された。

総会開催に先立ち、東中西の各単位会ごとに神楽の披露された。総会では、米原会長挨拶の後、各種報告及事業・決算報告、本年度事業計画・予算案の審議がなされ承認された。

中でも、事業に関して、○神青通信の発行により会員相互、神社界への活動報告を充実させる。

○来年開催予定の第二十七回中国地区氏青・神青合同研修会(八月於西部)の主管について

の二点については、今後の取り組み方、計画、方向づけについてまで、懇親会の席上でも話し合わされ、会員相互の意識の確認をして閉会した。(松田)

## 単位会の紹介

西部青年神職会

### 史跡めぐり

西部青年神職会の特色ある活動として、年一回の日帰りバスハイク「史跡めぐり」があります。

役員会に於て決定した日程に基づいて西部の各神社に広く参加者を募り、会員及び一般参加者相互の親睦と、温故知新を目的として実施しております。旅行会社のツアーが氾濫し、各部会単位での日帰り神社めぐりなども盛んな昨今、参加者の確保に苦慮しながらも、関係各位の協力によって、毎回三十名前後の参加を得て存続致しており、今後もさらに発展的に実施して行きたいと考えております。

毎年六月に実施して参りましたが、今年は都合により九月二十四日に、秋色の奥日野路を探訪しました。

午前九時、米子駅前を出

発、日野川に添って国道一

八一号線を南へ進み、元弘の忠臣金持大和守景藤ゆかりの地、日野町金持という

すごいネーミングの集落にある金持神社で招福開運を祈り、今年八月に亡くなつた小説家松本清張の文学碑を見学（日南町は清張のお父さんの出身地）、そして通称奥日野大社として崇敬を集める楽楽福神社へ向かいました。孝霊天皇とその皇子達を祀るこの神社は、杉の古木に包まれて神域と呼ぶにふさわしく、「寺は伽藍で持つ、神社は森で持つ」という言葉を実感、その神々しさの中で正式参拝をさせて頂きました。

昼食の炭焼きバーベキューも仲々好評で、帰路では来年の計画も噂されておりました。次は六月に実施したいと考えております。

(森山 記)



中部青年神職会

### 日の丸パレード

中部青年神職会は、『神々の御神徳に基づいて会員相互の親睦を図り神社神道の高揚に寄与すること』をその目的としています。

主な活動は、

- 一、鎮魂神社夏季大祭奉仕（所役として）
- 二、建国祭奉仕
- 三、日の丸パレード（国旗掲揚運動）

を毎年度の事業計画に掲げ、多くの会員の協力の下、伝統的に実施されて来ました。この内、『日の丸パレード』について、その概要を報告します。

この活動は、『日の丸の旗が、我が国を象徴する気高い御標であることを認識し、祝祭日には国旗としての日の丸の旗を掲げて意義ある祝祭日を祝おうとする機運を盛り上げる』ための啓発活動で、約二十年前から中部青年神職会の主要な

活動の一つとして継承されて来ました。

五月のゴールデンウィークを控えた四月下旬の日曜日を実施目標日とし、会員の車約三台で中部地区一円を五時間かけてパレードします。

『日の丸は、わが国の国旗です。君が代は、わが国の国歌です。』祝祭日には、国旗を掲げてお祝いし



日の丸パレード

ましよう。『流すテープに沿道では、宮司さんが出迎えて下さいます。遊んでいる子供や農作業をしておられるお年寄りの方達が手を振ってくれます。『パレードをして良かった』そんな清々しい気持ちにさせられる瞬間であり、国旗掲揚運動の輪がさらに広がることを確信する時でもあります。今後更に工夫を加え、息

の長い活動としたと考えております。

この運動を続けてこられた先輩会員各位のご努力と県神社庁中部支部のこの運動に対する温かいご支援に厚くお礼申し上げます。



## 東部青年神職会

## 一泊研修会

若輩会(東部青年神職会)では、夏に総会を兼ねた一泊研修会を主軸に、卓上研修会、春秋の護国神社奉仕等、活動を行っている。

中でも主軸となる一泊研修は、年毎に東部四地区一カ所を巡回して実施しており、本年度は八月八日・九日の二日間に行き、岩美町の美取神社で行った。

両日は、あいにくの台風通過により雨模様であったが、第一日目の八日午後一時、神社隣の公民館に集合し、東部の神社奉仕にはなくてはならない、太鼓を使った楽「因幡相伝楽」を全員で練習。神社で夕拝を行った後、若輩会定例総会を開き、本年度の諸事案件を協議。次に、会場をお世話下さった美取神社の田中善行宮司様の、神社にまつわる由緒等の講

話を拝聴。午後八時より会員全員によって作られた食事をとりながら、夜遅くまで交友を温めあった。

翌日は、台風の影響で増水した川での禊祓成は中止となったが、朝拝、朝食を済



ませ、「祭式」の基本作法の研修に入る。

起居進退の復習では、さすがにホヤホヤの新人は、足腰も万全なため、基本に忠実。若さの中堅(ベテラン?)の参加者は、普段は

基本を気にせずに行っているためか、立つ足、座る足に注意が届きすぎて皆々四苦八苦。表情にこそ余裕はあるものの、額に汗して一動作づつ真剣に取り組んだ。

また、春秋の護国神社大

祭では、会員有志が当日の受付、各都市より代表して奉仕される神職の斎服着付け等を担当。厳粛でしかも盛大な祭典の様子を拝観すると共に、いつでもどこにいても着付けを正確に奉仕出来るよう、研修を兼ねて取り組んでいる。

この他、新春の新年会、テーマを組んでの卓上研修会等、会員相互の資質向上を目指し実施している。

会員の積極的参加を望む。

(田中 記)



## 平成4年度鳥取県神道青年会事業計画書

## 重点目標

- 一、神道青年としての意識の昂揚と自己研修の実践
- 二、単位会の相互交流を進める
- 三、神青協活動方針事業計画に基づき活動を進める

## 事業

- 一、中国地区ソフトボール大会  
(九月二十五日・於 出雲ドーム)
- 二、第二十七回中国地区 氏子青年・神道青年合同研修会  
(主催 鳥取県)
- 三、県神青だより発行
- 四、単位会における事業の推進
- 五、神宮遷宮塗絵会に参加

## 平成3年度決算及び4年度予算書

## (収入の部)

| 科 目     | 4年度予算額   | 3年度決算額   |
|---------|----------|----------|
| 会 費     | 108,000円 | 108,000円 |
| 助 成 金   | 200,000円 | 200,000円 |
| 寄 贈 金   | 1,000円   | 0円       |
| 繰 越 金   | 7,786円   | 4,771円   |
| 収 入 合 計 | 316,786円 | 312,771円 |

## (支出の部)

| 科 目     | 本年度予算額   | 前年度予算額   |
|---------|----------|----------|
| 総 会 費   | 20,000円  | 20,000円  |
| 役 員 会 費 | 15,000円  | 15,000円  |
| 事 業 費   | 30,000円  | 30,000円  |
| 対外派遣助成  | 135,000円 | 135,000円 |
| 事 務 費   | 15,000円  | 12,985円  |
| 神青協負担金  | 57,000円  | 57,000円  |
| 地区負担金   | 25,000円  | 25,000円  |
| 特別積立金   | 10,000円  | 10,000円  |
| 予 備 費   | 9,786円   | 0円       |
| 支 出 合 計 | 316,786円 | 304,985円 |



## 神道青年親善 ソフトボール大会開催

出雲ドームで、九月二十五日、中国地区神道青年親善ソフトボール大会が開催された。

試合はトーナメント形式でおこなわれ、初戦島根県Bチームと対戦。7対17で敗退するが、敗者復活戦で広島県チームを9対8のスコアで破る。続く三位決定戦を、島根県Aチームと対戦。5対2のスコアで三位

## 鎮物及び傘の幹旋について

県神道青年会事業として鎮物を幹旋しております。

製造販売会社の協力を得て、特別安価にて幹旋できる事となり、ここに御案内申し上げます。

記

寸法 15 cm × 10 cm × 3 cm  
価格 五百円  
「鎮物」を桐箱に印刷し、奉書で包装、麻緒をかけた

入賞を果たした。優勝は山口県チームで、二位は島根県チーム。尚十一回を重ねてきたこの大会も島根県の主催で幕を閉じることとなった。



祝 第三位  
熱戦の後の記念撮影

完成品です。

又、雨傘も五千円にて幹旋致しておりますので、お申し込みください。

\*申し込みお問い合わせは各東・中・西単位会事務局へ

各単位会事務局  
東部 八頭郡用瀬町用瀬97

田中倫明

電話 8712840  
中部 東郷町埴見116

前田史宣

電話 3210798  
西部 米子市夜見町2618

青砥一彦  
電話 2910619

## 〈遷宮だより〉

神宮式年遷宮の「ごころ」を守り伝える委員会は、昨年春各単位から啓蒙推進員を選出して発足しました。

神道青年として御遷宮の啓蒙をいかにはかるかを協議してまいりました。結果第一弾として「遷宮ぬりえ大会」を企画、現在事業を展開しております。

御協力お願いします。



## 環境保全と日本文化

吉田 武章

最近、環境保全とか地球を守ろうという事が言われていますが、これは人間が自分達の便利だけを考えて自然を破壊してきた結果だと思っています。

しかし、本来の日本は、日本人は、自然を愛し、自

然と共に生きる事を良しとした精神を持って生きて来たはずです。それなのに何故このような環境破壊の国に化してしまったのでしょうか。

思うに、日本は近年西欧の科学技術を取り入れ、それを開発して種々な物を作り輸出して経済大国となりましたが、同時に西欧からの精神文化も寛容に受け入れてしまい、本来の日本の

## § 編集後記 §

県神青の活動は各単位ごとの活動に偏りがちであり支部が違えば馴染みが薄く少しでもお互い理解出来るよう通信を出すことになりました。

発刊に当っては、只でさえ忙しい事務局に負担をかけるのは申し訳なく、また、より多くの会員が関心を持つ意義からも東部・中部・西部が持ち回りで発行しようとして申し合せ、創刊号

精神を忘れてしまったのだと思います。

西欧の文化は、自然と対立し、これを克服する事によって発達してきました。しかし、日本文化は自然を愛し自然と共に生きる事によって成長して来たと思います。この忘れられた日本精神の神髄をもう一度皆の心に甦えらせる為、神道人として互に努力しなければならぬと思う昨今です。

は言い出しつゝの若輩会(東部)が引き受けました。

印刷物があふれている昨今、読まれることなく処分されるものも少なくありません。同じ作るなら皆に見てもらえる魅力ある紙面にしたいものと五名の編集委員が智恵を搾り発行いたしました。

今後、会員各位の熱意とご尽力により発展・充実して行けば創刊号を手掛けた者として幸甚であります。

(小森)